

NIE 教育

思考力，判断力，表現力を高め発信しよう

呉市立両城中学校 森田 智美

1 はじめに

本校は、NIE の実践指定校として3年目を迎える。初年度は、「思考力，判断力，表現力」の育成を，2年目は，更に向上させること，そして今年度は，自分の意見を発信することを目標に取り組を進めている。

2 実践内容

(1) 新聞記事から発信しよう

新聞の朝刊1週間分を準備し，各班に一日分ずつ配布して新聞記事を回し読みしながら各自が気になった記事を選び，「①選んだ理由」「②5W1H で分かりやすくまとめた記事の要約」「③記事についての意見」を班内で紹介しあった。交流することで同じ記事を選んでいても人それぞれの考えの違いに改めて気づくことができた。班内での交流後，各班の代表者が発表し全体で交流することで考えをさらに深めていた。令和6(2024)年1月第1週の新聞記事では，地震の記事を取り上げていた生徒が多く，全体交流では，図書館の本を活用して防災クイズを出し合いながら災害のこわさを再認識し，防災・減災について改めて考えた。「自分の命は自分で守る」ために自分ができることや日頃から備えておくことなど，意見を出し合いながら考えることができた。

記事を選んで



記事をまとめて



班で交流して

全体の場で発表！



～考えたこと～

- ☆班の中でいろいろな記事を交流し、新聞について興味をもつことができました。
- ☆自分が選んだ記事を発表して深く交流できました。もっと新聞を読んで、感想を伝えたいと思いました。
- ☆新聞記事で班のみんなと交流して、それぞれ違う記事で違う意見が出て考えが深まった。
- ☆見出しで印象が変わり、記事の注目するところが分かっておもしろいと思った。
- ☆同じ記事でも人によって考えが変わるので、そこが交流のよさだと改めて知ることができました。
- ☆能登半島地震の記事を読んで、今後地震が起こったときどんな行動をとるのかなど、自分たちにできることを再確認できた。

(2) 中国新聞「ぶんタッチ」から発信しよう

1年生は、入学当初新聞を日常的に読む生徒がほとんどいなかった。新聞は難しいと感じている生徒が多くいたため、タブレットを使って、「ぶんタッチ」で記事を読むことを始めた。中学生が読んでも分かりやすく書かれており、地元呉市の記事も多く、生徒は興味をもって読んでいた。

記事を選んで



記事をまとめて



班の人に発信



全体に発信



～考えたこと～

- ☆「ぶんタッチ」にとてもたくさんの地元の記事が載っていました。自分が住んでいる地域に興味をもったので、「ぶんタッチ」を使ってまた記事を読みたいです。
- ☆「ぶんタッチ」では、タブレット1つでいろんな見たい記事がたくさん見られた。新聞を見ようというきっかけになった。
- ☆さまざまな記事があってとても興味が湧きました。そこから毎日、いろいろな記事を見ることで、知識を深めたり、興味の湧くものを調べたいと思いました。
- ☆タブレットで自分が気になる記事を見つけうまく工夫して説明できました。新聞やタブレットは交流を深めやすいと思いました。
- ☆近くの地域の記事を読み、地域のことについてよく知ることができました。
- ☆呉のことやいつもは知らないようなことを知ることができました。
- ☆新聞は字が小さくて、難しいことが書かれていることがあるけど、「ぶんタッチ」は、字が大きく簡単に書かれていたから読みやすかった。

(3) はがき新聞で発信しよう

来年度入学する新1年生に向けて、1年生が両城中学校を紹介する「はがき新聞」を作った。時程や小学校と違う学習や授業、学校生活や行事、部活動などについて、それぞれ班で分担し、班内で更に細かく分け1人1枚作成した。レイアウトや見出しなどを工夫しながら取り組み、完成したはがき新聞をクラスで発表し、より分かりやすくするために意見交流した。

インタビューして



レイアウトを考えて



下書きを書いて



清書を仕上げて



はがき新聞完成！



ICTを活用して発表



スームも使って



～よかったところやアドバイス～

○内容が詳しくよかった。

○説明の仕方や言葉選びがうまく、話に引き込まれた。

△(複数の小学校から入学するので)今の説明ではわからない子もいるのでは？

～考えたこと～

☆はがき新聞を自分たちで作って、新聞のおもしろさ、新聞の楽しさについて学べました。

☆新1年生になる人たちに中学校生活が分かりやすく伝わるように工夫してはがき新聞が作れた。

☆グループの人たちと交流しながらアドバイスをし合うことができました。こういうことをすることでコミュニケーションの力が付くと思いました。

☆短く分かりやすく文章をまとめるのが難しかった。

☆簡潔にまとめて新聞に書くという取組をしました。このことから、大切なところ、伝えたいことをまとめる力や、構成を考える力が身に付いたので、これからの活動に活かしたいと思いました。

(4) 出前授業から学ぼう

7月18日に、中国新聞社の方に来ていただき、1年生に、「新聞コンクールに応募しよう」をテーマに出前授業を行っていただいた。新聞の仕組みや「人に伝わる新聞」づくりのためのお話、両城中学校生徒会の取組が掲載された記事を使って、記事の書き方や見出しの付け方などを教えていただいた。

説明を聞き 新聞を読み 見出しを考えよう



～考えたこと～

- ☆出前授業を受けて、5W1Hを使うことが大事だと分かりました。自分で新聞を書きたいです。
- ☆新聞のつくりについての説明や構成を教えてくださいました。構成を教えてくださいましたのでそれをいかして新聞を読み取ってみたいです。
- ☆5W1Hを入れてパッと見て分かる見出しをつけることが重要だと思いました。

(5) 新聞コンクールで発信しよう

夏休みの課題として昨年度に引き続き、中国新聞社の「みんなの新聞コンクール」に応募した。



～考えたこと～

- ☆新聞を読む側だけでなく、どうしたら読者の興味を引き付けられるなどの新聞をつくる側の考えも知ることができた。
- ☆数日分の新聞の中から関連した記事を探して 1 枚の紙にまとめたので、まとめる力、たくさんの情報を整理する力が身に付いたと思います。
- ☆私が書いた戦争の新聞記事では、自分の意見を持って読み、悲惨な過去だけど、そこから学べることを、二度と起きないようにできることなど、具体的な資料を用いて文章を表現できるようになった。
- ☆どんな記事を切り取れば相手を引きつけられるか、その記事からこれから何をすべきかを自分で推敲することができました。この夏の取組で、新聞に対するイメージがおもしろそうだなという考えに変わりました。
- ☆相手に読みやすい文で書けた。新聞がどのような構成をしていて、新聞がスラスラ読めるのはなぜかを考えることができた。新聞のような文章力を少しでも身に付けようと努力することができた。
- ☆一から自分たちで文章を書く大変さが分かった。しかし、資料を集めたり構成を考えたりするのが楽しかった。
- ☆日頃聞き流している出来事に目を止めることで、当たり前だと思っていた情景はもしかしたら違うのかもしれない。こうしたら改善できるかもしれないと、周りに関心を持つことができました。

(6) 新聞スピーチで発信しよう

今年度も3年生の国語科の授業で、新聞スピーチに取り組んでいる。今年度は小グループごとの発表後に1, 2名の生徒の全体の前での発表を行っている。

グループで発信



グループで交流



ICTを活用して全体に発信



いつでも新聞が 読めるよ



新聞スピーチを 掲示して発信

～考えたこと～

- ☆意見文の書き方を身に付けることができた。また、新聞を読んでただその内容を頭に入れるだけでなく、その内容を踏まえて自分の考えをしっかりとつことができるようになった。
- ☆新聞スピーチに取り組んでから、ニュースに興味をもつようになったし、物事を簡潔にまとめる力が付いたと思う。
- ☆1学期、2学期は直しが多かったけど、3学期からよくまとめられているなどのコメントが増え、自分でも要約するのが前より上手になったのを実感した。
- ☆長文を読んで何が伝えたいのか、これからどうしていきたいのかなど筆者の気持ちもわかるようになった。自分で理解し、それをしっかり言葉で要約し、表現できるようになった。これからも新聞を読み、内容を理解し、人に伝える、自分の中で整理することを心がけたい。そして、それがもっとできれば表現力がもっと付くと思う。
- ☆新聞に掲載されていた文章は秀逸なものばかりで、文章力を上げたいという思いを手助けしてくれたのが国語の授業で取り入れられた新聞スピーチです。初めは難しさも感じましたが、続けていると文章を読み書きする速さが格段に上がっていくのを実感しました。また、発表するだけでなく、聞き手側は発表者に対して意見文を書かなければいけません。自分の関心ごと以外に触れ合うことができ、視野を広げられただけでなく、幅広い問題に意見を持つ力を身に付けることができました。そして何より、文章に対する自信や楽しさ、言葉への興味を持つことができました。

(7) ヤングスポットで発信しよう

今年度も、行事や総合的な学習の時間に取り組んだこと、各教科で学習したことについて自分の意見を書き、ヤングスポットに投稿している。初めは報告文になっていた生徒も自分の思いや意見が書けるようになってきた。今年度は現時点で14名の生徒の投稿文が掲載され、各教室や校長室前に掲示してい



～考えたこと～

- ☆どうすれば相手に分かりやすく伝わるのか考え、簡潔にまとめる表現が増えた。文章の段落、形式などを考え、構成が分かりやすい内容を書くことができたと思う。
- ☆自分の意見や感想を400字でまとめることができ、少し大変だったけど、一度だけ新聞に載せてもらうことができた。これは小説づくりの自信にもなった。
- ☆一つの行ったことを思い返しながらかくと、こんなことがあったなと思い出しながらかくことができ感情豊かになった。
- ☆文章を書くことで自分を振り返ることができた。
- ☆最初はあまりうまく文章を書くことができなかったけど、何回も書いていくうちに、自分が思ったこと、感じたことを具現化することができるようになった。一度自分の書いたヤングスポットが新聞に載ることができて、前よりも文章力や表現力が上がったなと感ずることができた。
- ☆載ることはなかったけれど、1回目のときより文章の書き方が上手くなったと思います。あまり、文章を書くのが得意ではないので、少しずつ上手くなっていきたいと思いました。

3 おわりに

実践指定校として3年目を迎えた。生徒の思考力・判断力・表現力や社会への関心を高め、主体的に考え行動する生徒を育てるために、毎年新たな取組も加えながら実践を行ってきた。来年度は、「つなぐ」をキーワードに、家庭と学校、小中連携などの取組も視野に入れながら、NIEの活動を推進していきたい。

